

mkFuPadPortable

これは何?

FuPadのisoイメージを作成するシェルスクリプト。

実行環境

次のいずれかの環境で、実行可能。

VSCodeとDocker

VSCodeのDevContainerの設定ファイルも一緒に配布しているので、そこでターミナルを開いて作業可能。

次のパッケージをインストールしたUbuntu Linux

- msitools
- p7zip-full
- genisoimage

次のコマンドで、これらパッケージをまとめてインストール可能。

```
apt install msitools p7zip-full genisoimage
```

次のコマンドがインストールされたUNIX系環境(多分動く)

- msiextract
 - msiファイルからのファイル抽出
- 7z
 - 7zipファイルの展開
- mkisofs
 - isoファイルの作成

必要なもの

FuPadのインストーラ

moodleなどから入手する。FuPad_for_ProgExII2023.msiのようなファイル名。

MinGw64のバイナリファイルアーカイブ

次のURLから入手する。

<https://github.com/nlXman/mingw-builds-binaries/releases>

2023年度版は、[x86_64-13.1.0-release-posix-seh-ucrt-rt_v11-rev1.7z](#)を使用した。

実行方法

```
./mkFuPadPortable.sh <FuPadのインストーラ> <MinGw64のバイナリファイルアーカイブ>
```

そうすると、mkFuPadPortable.shと同じディレクトリに、FuPadPortable.isoが作成される。

実行例

2023年度版の場合は、次のように実行した。

```
./mkFuPadPortable.sh FuPad_for_ProgExII2023.msi x86_64-13.1.0-release-  
posix-seh-ucrt-rt_v11-rev1.7z
```